

子どもの居場所講座 ～子ども食堂がつなぐもの～



地域のなかの子どもの居場所として、子ども食堂が果たす役割について共に考えてみませんか。
コロナ禍において地域でのつながり、取組みが難しい現状だが、こんなときだからこそ地域のつながり力で新たなものを生み出してみませんか。

日時

令和3年1月16日(土) 10:00～15:00

第1部 10:00～12:00

講演

地域の中の子どもの居場所について

～今、できる子ども食堂を通した地域のつながり力～

第2部 13:00～15:00

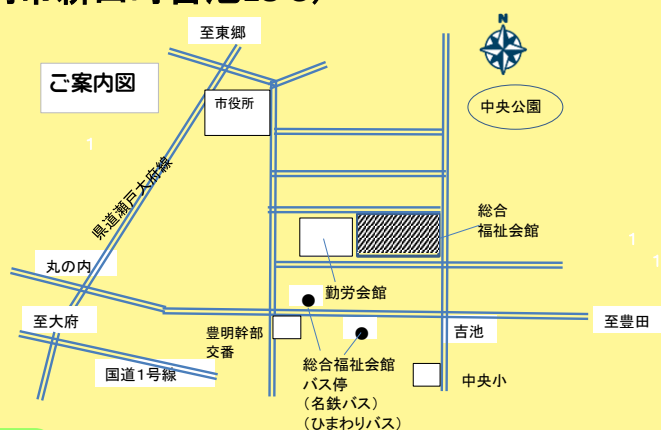
ワークショップ

地域の中の子どもの居場所について

～今、自分たちにできる居場所のかたちを考える～

場所

総合福祉会館 3階 大会議室
(豊明市新田町吉池18-3)



講師



全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長

湯浅 誠氏

対象者

- ・子どもの居場所、子ども食堂に興味関心のある方
- ・市内の方ならどなたでもお気軽にご参加ください。

参加費

無料

定員

40名程度(先着順) ※12月10日(木)9時～受付開始

申込み

事前に裏面の申込書にご記入のうえ、ご持参いただくか、電話またはFAXでお申込ください。

託児

託児が必要な方は、申込時にお申し出ください。

お願い

新型コロナウイルスの感染予防対策へのご協力をお願いいたします。

■問合せ／豊明市社会福祉協議会 TEL:0562-93-5051 FAX:0562-93-3880

■主催／豊明市社会福祉協議会 ■後援／愛知県社会福祉協議会

「子どもの居場所講座」 ～子ども食堂がつなぐもの～

講師紹介



社会活動家

東京大学先端科学技術研究センター特任教授

全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長

湯浅誠氏

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間に閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。2014年～2019年まで法政大学教授。

著書に、『子どもが増えた！人口増・税収増の自治体経営』（泉房穂氏との共著、光文社新書、2019年）、『「なんとかする」子どもの貧困』（角川新書、2017年）、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日新聞出版、2012年）、『反貧困』（岩波新書、2008年、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞）、『貧困についてとことん考えてみた』（茂木健一郎と共著、NHK出版、2010年）など多数。

ヤフーニュース個人に連載中の「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で「オーサーアワード2016」受賞、法政大学の教育実践で「学生が選ぶベストティーチャー」を2年連続で受賞。「こども食堂安心・安全プロジェクト」でCampfireAward2018受賞。他に日本弁護士連合会市民会議委員など。

< 第1部 > 10:00～12:00

講演 「地域の中の子どもの居場所について」

～今、できる子ども食堂を通した地域のつながり力～

全国的にも「子ども食堂」の取組みが広がってきており、市内でも「子ども食堂」が開催されています。地域の中の子どもの居場所として、「子ども食堂」が果たす役割とは。また、コロナ禍において地域での取組みが難しい現状が続いている現状。こんな時代だからこそ、住民同士のつながりをつくる意味や方法について考えてみませんか。

< 第2部 > 13:00～15:00

ワークショップ 「地域の中の子どもの居場所について」

～今、自分たちにできる居場所のかたちを考える～

今の子どもたちのために、大人たちが今できることは？コロナ禍において、人と人とのつながりが必要と感じた方は少なくないのではないのでしょうか。豊明市内で「子ども食堂」の活動をするためには、どんなふうに取り組んだらいいのかを考えてみましょう。

< 子どもの居場所講座 参加申込書 >

ご持参いただく場合 ▶ 豊明市新田町吉池18 - 3 (豊明市社会福祉協議会) まで

電話 ▶ 0562-93-5051

FAX送付先 ▶ 0562-93-3880

令和2年
12月10日(木)
9時～受付

フリガナ		生年月日	昭和 平成	年	月	日
名前						
住所	〒					
電話番号	☎ ()	—				

※ご記入いただいた個人情報は子どもの居場所講座の運営・管理にのみ利用させていただきます。